

令和元年度 神奈川県立大和南高等学校 不祥事ゼロプログラム
検証結果

① 法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底）

| | | | |
|----|--|----------------------------|----|
| 取組 | 社会人としてのモラル、公務員としての倫理意識を持つ。 | | |
| 目標 | 教育公務員としての自覚を持ち、法令遵守の認識を深め、公務外非行を未然に防止する。 | | |
| | 行動計画 | 達成状況 | 検証 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○「神奈川県職員行動指針」を再確認し、職員に周知する。 ○不祥事に係る具体的な事例を提示し、職員間のコミュニケーション等を通して、日常的に意識啓発、注意喚起に努める。 ○携帯電話や SNS 等の不適切な使用をしないよう、具体的な事例を提示して職員に周知を図る。 | 管理職による講話、事故防止会議での啓発、面接等の実施 | ○ |

② わいせつ・セクハラ行為の防止

| | | | |
|----|--|--|----|
| 取組 | わいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。 | | |
| 目標 | 人権意識を向上させ、わいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。 | | |
| | 行動計画 | 達成状況 | 検証 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○事故防止会議等において、日々の言動などで不快に思われる行為の事例などを取り上げ、職員全体への意識付けを行う。 ○管理職は、授業や部活動の様子、教科準備室等の利用状況を日常的に巡視する。 | 管理職による講話、研修用ビデオ視聴、事故防止会議での啓発、教科準備室の点検、面接等の実施 | ○ |

③ 体罰、不適切な指導の防止

| | | | |
|----|--|---------------------------------------|----|
| 取組 | 部活動・授業等における体罰・不適切な指導等の発生を未然に防止する。 | | |
| 目標 | 生徒の人権を保証し、生徒に対する体罰や不適切指導、不適切発言を未然に防止する。 | | |
| | 行動計画 | 達成状況 | 検証 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○人権研修会や事故防止会議等において、体罰防止のガイドラインを配付し、職員間の意識を高める。 ○生徒向け相談窓口等、生徒が校内で相談しやすくなる環境を整える。 | 管理職による講話、事故防止会議での啓発、関連資料の配付・掲示、面接等の実施 | ○ |

④ 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止

| | | | |
|----|--|------|----|
| 取組 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 入学者選抜業務を適正に実施する。 (2) 適正な成績処理・要録等作成のため、作成手順等周知徹底する。 (3) 進路手続チェックリストを活用した適正な業務遂行を徹底する。 | | |
| 目標 | 入学者選抜業務要項に基づいて、適正な業務を行う。また、厳正かつ確実な成績処理を行うとともに、調査書・推薦書等の発行には万全を期すことで事故を未然に防止する。 | | |
| | 行動計画 | 達成状況 | 検証 |

| | | |
|--|--|---|
| <p>○入学者選抜業務における作業手順を徹底し、複数チェックの確実な履行により、入力ミスや採点ミスなどを防止する。</p> <p>○成績処理マニュアルに基づいた業務を再確認し、最終的な複数点検を徹底する。</p> <p>○調査書・推薦書の作成及び取扱いについては、進路手続チェックリストを活用して組織的な点検を実施し、事故防止の徹底を図る。</p> | <p>管理職・総括教諭・入選担当者会議による研修会の実施、事故防止会議での啓発、手順・期限の確認徹底</p> | ○ |
|--|--|---|

⑤ 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策

| | | | |
|----|---|---|----|
| 取組 | (1) 個人情報（文書・記録媒体）の適正な管理を徹底する。 (2) 携帯電話等への個人情報の適正な登録の徹底 | | |
| 目標 | 個人情報の取扱いには細心の注意を払い、流出や紛失を未然に防止する。 | | |
| | 行動計画 | 達成状況 | 検証 |
| | ○事故防止会議等において、啓発資料などを用いて、個人情報の取扱いに関して職員の意識を高める。また、職員に対してルール of 徹底を図り、事故防止の徹底を図る。 | 管理職による講話、事故防止会議での啓発、事故防止会議での啓発、調査の実施、持ち出し・管理の徹底 | ○ |

⑥ 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守

| | | | |
|----|---|---------------------------------|----|
| 取組 | 交通法規の遵守を通して、教職員の関わる交通事故を未然に防止する。 | | |
| 目標 | 交通法規の遵守や交通マナーの向上を図り、事故を未然に防止する。 | | |
| | 行動計画 | 達成状況 | 検証 |
| | ○交通法規の遵守を日常的に職員に呼びかける。 ○通知や啓発資料を研修に活用し、職員の意識向上を図る。 | 管理職による講話、事故防止会議での啓発、資料配付、ポスター掲示 | ○ |

⑦ 業務執行体制の確保等(情報共有、相互チェック体制、業務協力体制)

| | | | |
|----|---|-----------------------------------|----|
| 取組 | 業務進捗状況・生徒情報等の共有化により、業務協力体制の円滑化を図り、相互チェック体制を徹底する。 | | |
| 目標 | 業務上のミス無くし、事故・不祥事をゼロにする。 | | |
| | 行動計画 | 達成状況 | 検証 |
| | ○起案による文書・データ等のチェック体制を徹底する。また、職場環境の整理・整頓を徹底する。(管理職・総務管理) | 事故防止会議での啓発、起案の徹底、報告・連絡・相談の励行、環境整備 | ○ |

⑧ 会計事務等の適正執行

| | | | |
|----|---|------|----|
| 取組 | 適正な私費取扱事務を実施する。 | | |
| 目標 | ○公費及び私費の会計事務をマニュアルに沿って厳正に行い、事故を未然に防止する。 | | |
| | 行動計画 | 達成状況 | 検証 |

| | | |
|---|--------------------------------------|----------|
| <p>○事故防止会議等において、啓発資料などを用いて意識の啓発と私費会計基準の周知徹底を図る。</p> <p>○計画的な予算執行が行えるよう、職員全体に時宜声かけを行う。</p> | <p>管理職による講話、事故防止会議での啓発、会計担当者への指導</p> | <p>○</p> |
|---|--------------------------------------|----------|

○ 令和元年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び令和2年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

(1) 令和元年度の達成状況について

ア 毎月事故・不祥事防止の研修会を実施し、学校全体で不祥事防止に取り組む体制ができた。また、毎回チェックシートを活用したことで、自己の振り返りを行うことができ、継続的な意識啓発の点において、大きな成果があった。

イ 事故・不祥事防止の取り組みにゴールはなく、今後も、様々な形態で効果的なプログラムを検討し、学校一丸となって事故・不祥事防止に努めていきたい。

(2) 令和2年度の課題について

ア 校内研修会をさらに充実させ、職員の事故防止意識やコンプライアンス体制強化をすすめる。

イ 学校運営協議会委員や保護者等の意見を、職員の不祥事防止に反映するための手段を検討する。